

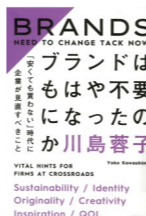
ビジネス情報コーナー 新着リスト

2021年8-9月受入分

新刊PICKUP

『ブランドはもはや
不要になったのか』

長くファッション業界に身を置いてきた著者らしい視点で切り込んでいる。魅力あるブランドで在り続けるには何が必要なのか？見知ったあのブランドは何を目指して独自性を貫いているのか？人々の生活の変化に伴って、変遷するブランドを取り巻く今と未来に向けた書。



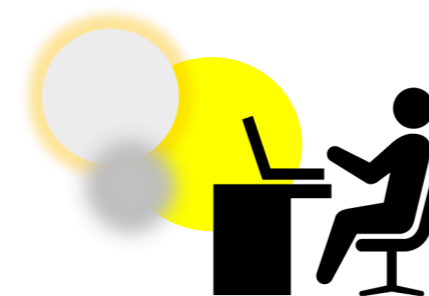
タイトル	著者名	出版社	出版年	請求記号
テレワーク導入のための就業規則作成・変更の実務	池内康裕／著	清文社	2021.7	336.44/イ
説明の一流、二流、三流	桐生稔／著	明日香出版社	2021.7	336.49/キ
転職の成功法則	菊原智明／著	綜合法令出版	2021.8	366.29/キ
最短で最高の結果を出す副業バイブル	小椋翔／著	フォレスト出版	2021.8	366.29/オ
パーパス	岩崎博論／著	ニューズピックス	2021.8	336.1/イ
「日本版ジョブ型」時代のキャリア戦略	加藤守和／著	ダイヤモンド社	2021.8	366.29/カ
ワーキングマザーで行こう！	原田諭貴子／著	みらいパブリッシング	2021.8	366.38/ハ
熟年ベンチャーの始め方	有澤生晃／著	ぱる出版	2021.9	335/ア
営業の新PDCA大全	藤本篤志／著	ダイヤモンド社	2021.8	673.3/フ
ブランドはもはや不要になったのか	川島蓉子／著	KADOKAWA	2021.9	675/カ
なぜ若者は理由もなく会社を辞められるのか？	中野雅至／著	育鵬社	2021.9	361.64/チ
課長2.0	前田鎌利／著	ダイヤモンド社	2021.9	336.3/リ
“ココ一番”の真心を	宗次徳二／著	中部経済新聞社	2020.2	289.1/ト
60分でわかる！DXデジタルトランスフォーメーション最前線	兼安暁／著	技術評論社	2021.5	336.17/カ
通す力	松尾昭仁／著	自由国民社	2020.9	336.49/リ

逐次刊行物（抜粋）

タイトル	出版社	出版年	請求記号
実務税法六法 -法令Ⅰ-	新日本法規出版	2021.7	R3
実務税法六法 -法令Ⅱ-	新日本法規出版	2021.7	R3
実務税法六法 -法令Ⅲ-	新日本法規出版	2021.7	R3
科学技術・イノベーション白書	文部科学省 [編集]	2021.6	R4
路線価図 愛知県版(1)	新日本法規出版	2021.8	R3
路線価図 愛知県版(2)	新日本法規出版	2021.8	R3
路線価図 愛知県版(3)	新日本法規出版	2021.8	R3
会社四季報 未上場会社版	東洋経済新報社	2021.10	R6

Business Topics

Vol. 50



テレワークの 可能性

テレワークとは、情報通信技術（ICT）を活用した、時間や場所にとらわれない、柔軟な働き方のことです。（「tele＝離れた所」と「work＝働く」を合わせた造語）

2016年に当時の内閣が「働き方改革実現推進室」を発足し、東京都が「東京オリンピック大会の交通混雑緩和のためにテレワークを」と推進し、そして2020年春に新型コロナウイルス感染拡大対策として「ステイホーム」の号令の下、一気に在宅勤務にシフトされる流れができました。

現在ではコロナ禍がきっかけで定着しつつあるテレワークが、このままこのメリットを生かして、さらに新しいスタイルが生まれるかもしれません。

これからの新しい働き方を探る中で、テレワークの可能性について考えるきっかけとなる本を紹介します。

■リレーコラム 第4回

「テレワーク」

新型コロナウイルスの影響で新しい働き方として「テレワーク」が定着してきました。

在宅勤務やサテライトオフィスなどは言わずもがな、新幹線、飛行機などの中からや、移動の合間にカフェで行うモバイルワークやリゾートや旅先からのワーケーションなどさまざまな方法で出来るようになってきました。

まだテレワークを取り入れていない会社でもペーパーレス化や脱ハンコ文化が進んでいくことで、テレワークへの拍車がかかるのではないのでしょうか。

withコロナ、afterコロナの時代にライフスタイルに合わせた仕事を選択することができるのは自然な流れとなることでしょう。（N）

■Content■

- ・リレーコラム
- ・特集:テレワークの可能性
- ・紹介図書
- ・新着図書リスト
- ・新刊ピックアップ

2021年11月1日発行
(隔月発行)

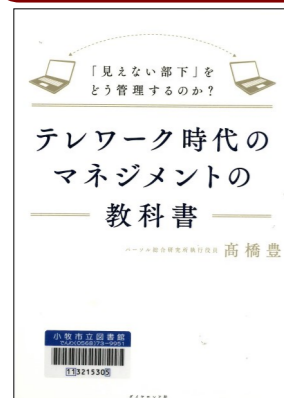
編集・発行
小牧市中央図書館
0568-73-9951

テレワーク時代のマネジメントの教科書



高橋豊 / 著

ダイヤモンド社 2021.4 (336.4/タ)



筆者の所属するパーソル総合研究所では、新型コロナ下におけるテレワークの課題を把握するために、6回の調査を実施しました。この調査結果をもとに、筆者がこれまで培ってきたマネジメントの課題解決の考え方やノウハウを紹介しています。コロナ禍によって偶然に起こった「テレワーク」への転換ですが、マネジメントやリーダーシップ、チームビルディングといった原理原則の本質は変わらないということです。

デジタル・ファシズム 日本の資産と主権が消える



堤未果 / 著

NHK出版 2021.8 (007.3/ツ)



9月1日、デジタル庁が発足しました。ポストコロナの新しい社会を見据え、国全体のデジタル化を主導する機関です。コロナ禍を体験したからこそ、より進んだ社会がもたらす恩恵に期待が高まります。が、デジタル化後進国とも揶揄される日本が世界に追いつくために補填するものはなんでしょうか。

本書は、今、巨大テック企業のビジネス市場として政府が狙われ、お金が狙われ、教育が狙われていると警告します。「ファシズム」という強い表現は、怖さを知らなければ守れない、自国や暮らしを守りたいという筆者の想いの強さでもあります。答えが出せなくても考え続ける勇気を持ってほしいと鼓舞されているように思います。

「気分よく」働けて、仕事はかどる！

一流の人は知っている テレワーク時代の新・ビジネスマナー



石川和男 / 著

宮本ゆみ子 / 著

WAVE出版 2021.5 (336.49/イ)



コロナ禍で状況が様々に変化し、試行錯誤を重ねているテレワークですが、ビジネスマナーは働くスタイルが変化しても、互いに気持ちよく働くための潤滑油になります。

合理的さを求める時代に向かいつつも、相手を気遣う気持ちは忘れたくないものです。限られた時間の中で、最大限の成果が出せるようにいつもの流れを見直してみるのも良いかもしれません。

テレワークの可能性

自宅でオンライン起業はじめました



秋田稲美 / 著

WAVE出版 2021.3 (673.36/ア)



本書は「自分の時間とエネルギーとお金を 自分と大切な人のために使おう」という目的のもとに書かれています。

自宅で仕事をするメリットは数知れず、これからの時代は更に可能性は広がっていくことでしょう。好きなことを仕事にするという理想も、現実に行うことが可能です。

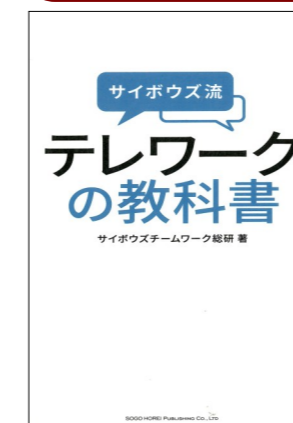
ワクワクしたらやってみる、違和感を覚えたらやめてみる。

そんなスタンスでオンライン起業をはじめて、夢をかたちに変えていく、一歩を支えてくれる本です。

サイボウズ流テレワークの教科書



サイボウズチームワーク総研 / 著 総合法令出版 2020.12 (336.4/サ)



グループウェア（社内の情報共有やコミュニケーションを補助するソフトウェア）の開発・販売を行う企業「サイボウズ」では、2010年からテレワークを実践してきました。この本では、サイボウズが試行錯誤の末作り上げたノウハウが紹介されています。現代のような不確実で正解がないビジネスシーンでは、「その時々状況に合わせ柔軟に対応していく」ことが必要で、テレワークのような働き方が適しているのです。

説明の一流、二流、三流



桐生稔 / 著

明日香出版社 2021.7 (336.49/キ)



マッキンゼーの分析によると、ビジネスパーソンは就労時間の実に28%の時間をメールに費やしているそうです。ビジネスの場以外でも、文章や発言で自身の意見を的確にまとめ伝えることは現代人必須のスキルといえます。が、説明に自信があると答えられる人は少ないのではないのでしょうか。

本書では、説明の三流、二流、一流がとる方法は…と具体的な行動を比較することで、一流の説明法をマスターできるよう工夫されています。テレワークの導入が進み、働く場所や時間に柔軟な選択ができる今だからこそ相手が喜ぶ説明力を身につけたい。そんな思いに応えてくれる1冊です。

テレワークの可能性